

## 平成29年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(公民)科目：(政治・経済) 対象：(第3 学年 A組～ E組)

科目担当者：(A組：印)(B組：印)(C組：印)(D組：印)(E組：印)

教科・科目の指導目標	現代社会における諸問題をグローバルな視点から考察し、問題の本質を見極めるための基礎的知識と思考力を養う。また、政治・経済・国際関係に関する最新の情報を教材として用い、その動向について考察させることで社会の有為な形成者として必要な公民としての資質・能力を育む。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	基礎的な知識・用語を問う問題については、中学段階の知識理解は6割程度出来ていると考えられる。しかし用語として記憶するのみにとどまり、現代社会の諸事象と結び付けて考察することができていない生徒も散見される。その結果、政治・経済に対する関心が低い傾向にある。また、地図や年表、グラフなどの読み取り、その他の多様な資料を複合的に理解し、論理的に思考する力と表現する力にも難点があることが見受けられる。	1、より深い理解が得られるように、現代社会との因果関係を指摘し、多角的な視野を養いつつ、知識の定着を目指す。 2、視聴覚教材など五感に訴える教材の導入や国際情勢の提示によって社会の諸事象について具体的に把握させ、政治・経済に対する興味・関心を高める。 3、授業を通して資料の読み取り方を指導し、習得した知識を応用する力を養う。 4、定期考査や課題を通して思考力・表現力を養う。	1、視聴覚教材をはじめとする多様な教材の開発や研究および指導内容の工夫に努める。 2、反復学習により、基礎知識の定着を図る。 3、定期考査等において、知識・思考を積み重ねて答える論述式設問を設定し、思考の構成力ならびに文章表現力の育成に努める。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			